2026 年 5 月号

満天星 どうだん

伊那弥生ケ丘高校図書委員会　2年A組

皆さん学校生活には慣れてきましたか？疲れたときは図書館で一息ついてみてはいかがでしょうか？

宝石商リチャード氏の謎鑑定

辻村七子　著

リチャード・ラナシンハ・ドヴルピアン。日本語堪能なイギリス人。
祖母はスリランカ出身。絶世の美男。
ロイヤルミルクティー過激派。

中田正義の新しい上司は、敏腕宝石商だった。
銀座に店をかまえる宝石店「エトランジェ」には今日も様々なお客様がやって来る。
甘党のイギリス人と普通の大学生が宝石にまつわる謎を解くジュエルミステリー。
大切に持っていた曰くつきの指輪、大切な人に贈った宝石、大切な人を守るために買った宝石、大好きな人が遺した宝石…様々な動機で様々な人の手にわたっていく宝石たちには、それぞれの物語やロマンがあります。
普段はあまり身近なものではない宝石。この本を読んだ後には、いつもより少し身近に感じられるかもしれません。

もし文豪たちがカップ焼きそばの作り方を書いたら

作：神田桂一・菊池良

この本は、思わずクスッと笑ってしまう発想から生まれた一冊です。ここで一句

キッチンや　菜箸飛びこむ
水の音
開きや部屋にしみ入る　啜る音

これは誰のカップ焼きそばの作り方でしょうか。
ただの焼きそばのはずなのに、無駄にしょうもなく常識の3分が変わります。

あっかっらめげばいい

作：ヨシタケシンスケ

「あっかっらめげばいい」
たったそれだけの言葉なのに
なんだか心が軽くなる。
「こうしなきゃいけない」に縛られず、ちょっと変わった別の道を見せてくれる一冊。
読んでいるうちに気づいたら笑っていて、じわっと沁みる。

短時間で読めるので手に取りやすく、頑張る人に刺さる絵本です。